

GAKUJO REPORT

あさがくナビ

朝日学情ナビ 2024

2024年卒学生対象 就職活動意識調査レポート

2023年5月発表



つくるのは、未来の選択肢

学情

GAKUJO
東証プライム上場



【調査概要】

- 調査対象：あさがくナビ2024登録会員（2024年3月卒業予定学生）
- 調査期間：2023年4月10日～4月24日
- 有効回答数：855件
- 調査方法：Web上のアンケート
- 昨年度比較データ
調査対象：あさがくナビ2023登録会員、調査期間：2022年4月15日～4月30日、有効回答数：813件

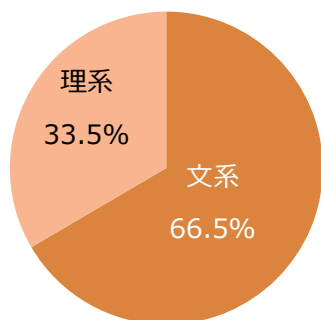
※レポート内の各項目の数値は小数点第二位を四捨五入し小数点第一位までを表記しているため、択一式の回答の合計が100.0%とならない場合があります。

トピックス

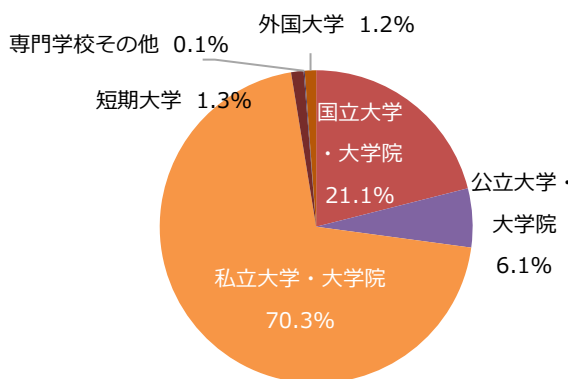
- ◆ 就職活動（インターンシップを含む）を本格的に開始した時期は「3年生の6月」が22.6%で最多。3年生の9月までに活動を始めた学生が全体の66.5%を占め、夏季インターンシップ参加が就職活動スタートのきっかけに。
- ◆ プレエントリー～面接受験までの各社数はいずれも昨年同時期から微減している一方、内々定獲得に至っている学生の割合は増加しており、売り手市場が顕著に。
- ◆ 内々定を得た企業への入社意思是「入社を希望し、就職活動を終えた」（36.3%）が最多だが、昨年同時期比3.1ポイント減。一方で「他企業で内々定を得られなければ入社を検討する」が同7.2ポイント増の31.3%。入社意思が固まらないまま内々定獲得に至るケースも増えている。
- ◆ インターンシップ参加企業を選んだ基準は、「入社したい企業である」（42.5%）や「インターンシップ参加により、その後の選考が有利になりそう」（36.5%）が昨年同時期をそれぞれ約5ポイント上回り、実利を求めて参加企業を選ぶ学生の割合が増加。
- ◆ 魅力を感じる企業について、「給与の高い企業」（51.7%）が昨年同時期を16.9ポイント上回り、伸びが目立つ。初任給を引き上げる企業の増加や、昨今の物価高の影響もあり、給与の高さに魅力を感じる学生が増加しているようだ。

回答者属性

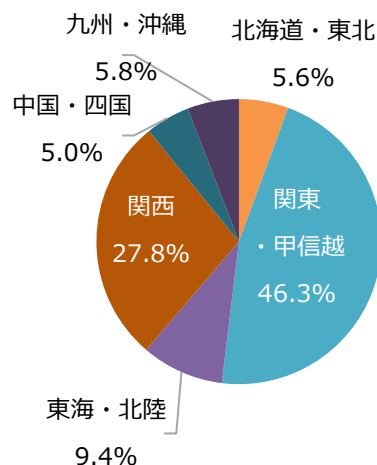
■ 文理



■ 学校区分



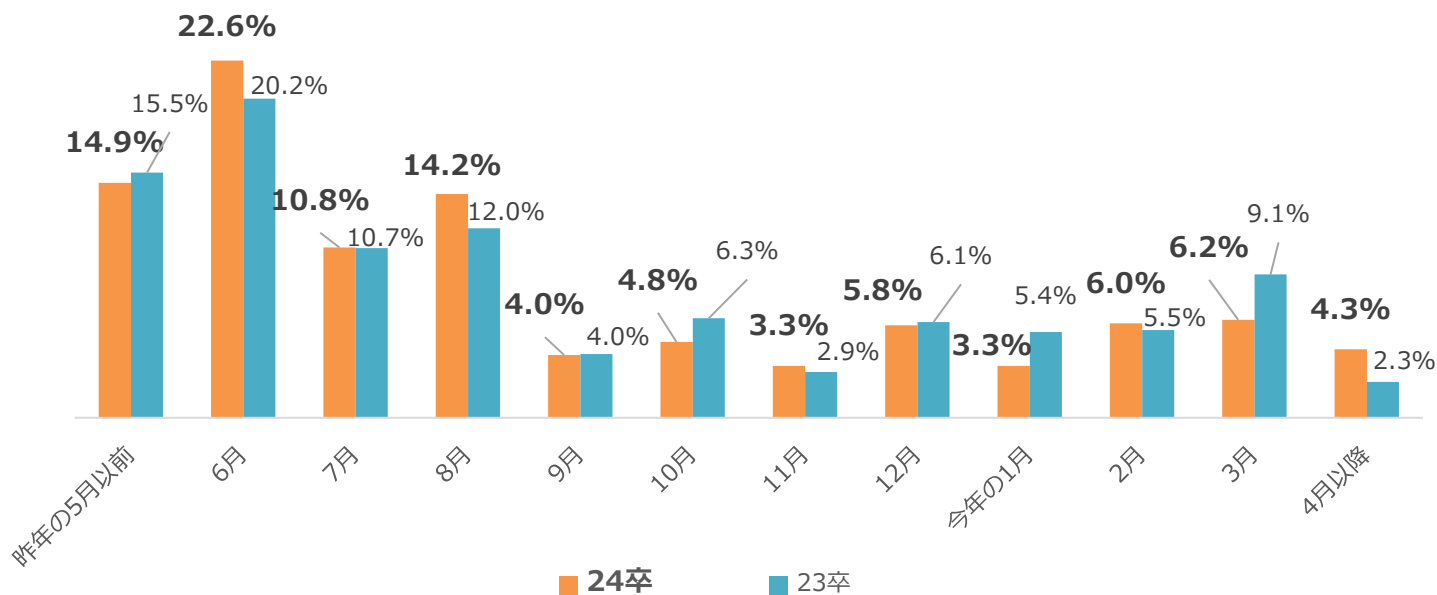
■ 現住所の地域



① 就職活動の進行状況について

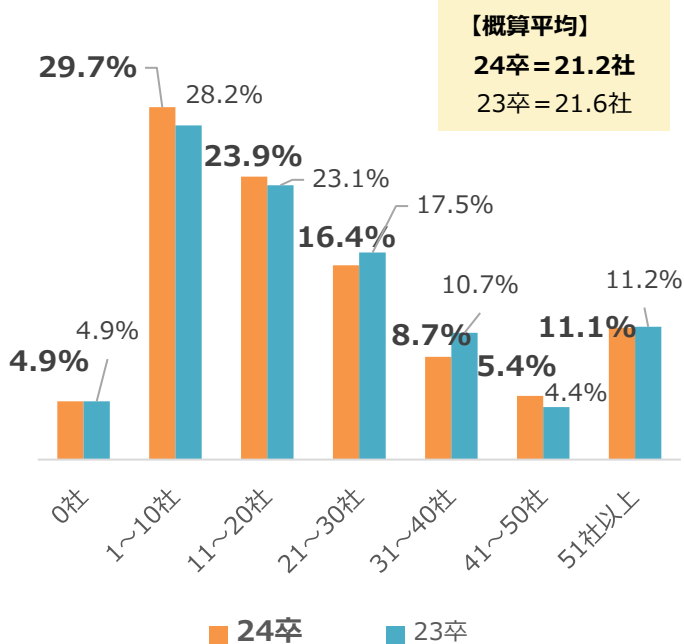
Q. 就職活動（インターンシップを含む）を本格的に開始した時期は？

N=855



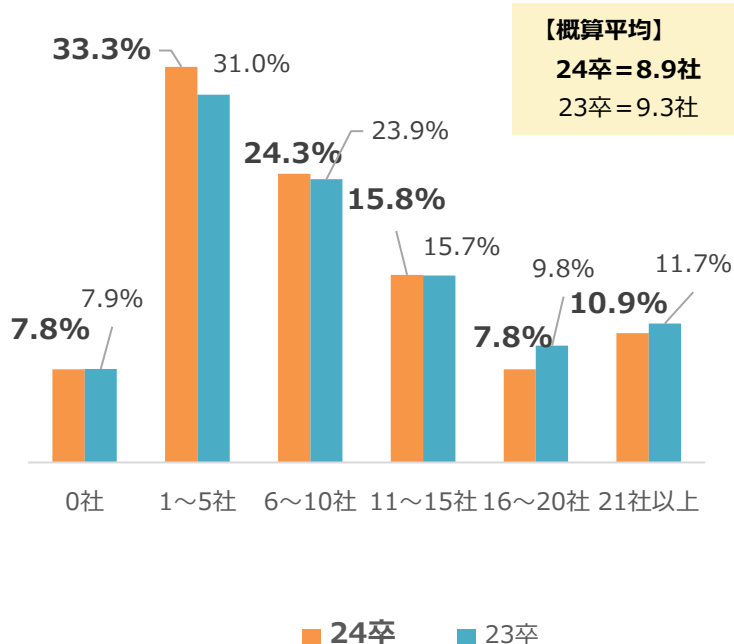
Q. 現在までのプレエントリー社数は？

N=855



Q. 現在までのエントリーシート提出社数は？

N=855



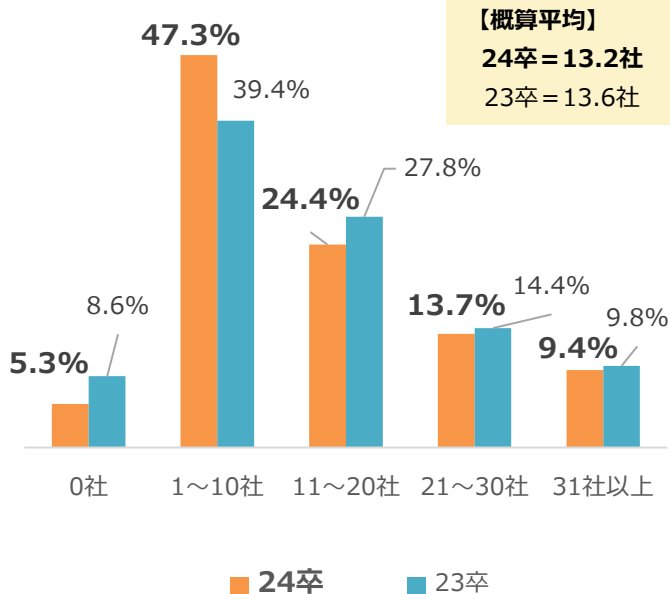
インターンシップを含め、就職活動を本格的に開始した時期は「6月」が22.6%で最多。3年生の9月までに活動を始めた学生が66.5%で、夏季インターンシップに参加するため活動を始めたとみられる学生がおよそ3分の2に達する。昨年度と比べると開始時期はやや早まった傾向。

4月中～下旬時点でのプレエントリー社数は昨年同時期と同じく「1~10社」が最多で29.7%。概算平均は21.2社で、昨年同時期（21.6社）と比べ微減。

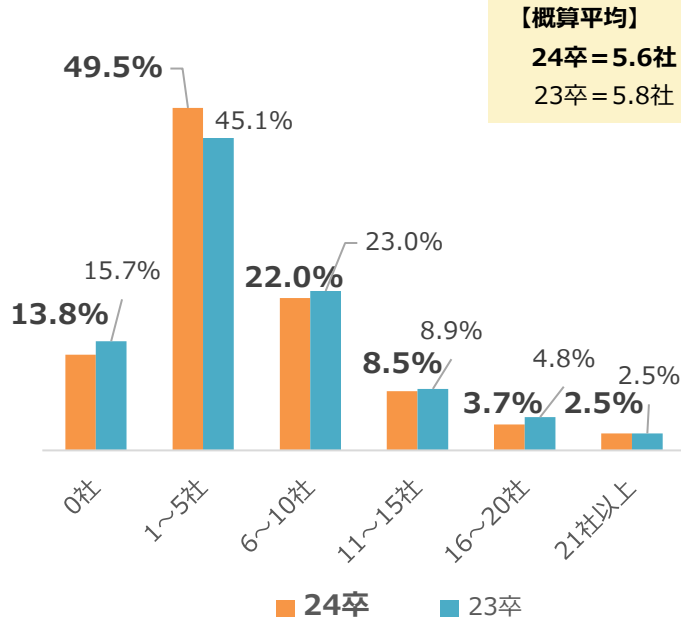
エントリーシート提出社数も昨年同時期と同じく「1~5社」が最多で33.3%。提出社数の概算平均は8.9社。

① 就職活動の進行状況について

Q. 現在までのセミナー参加社数は？ N=855

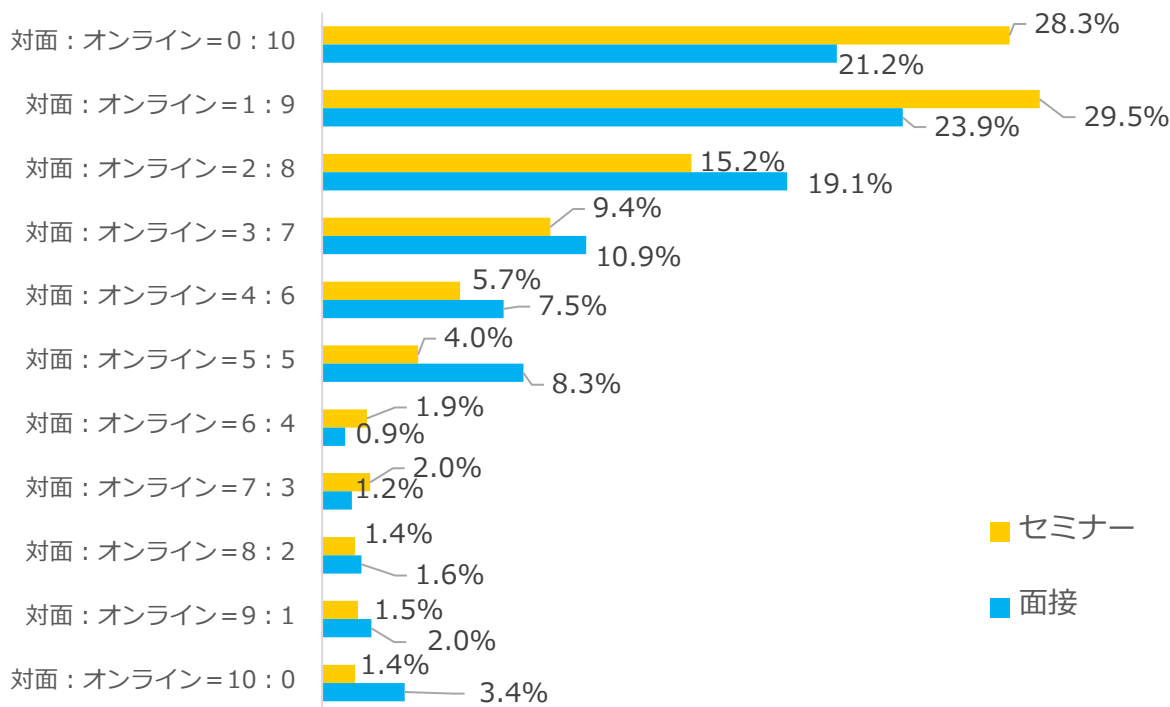


Q. 現在までの面接受験社数は？ N=855



Q. 参加した【セミナー / 面接】の「対面 : オンライン」の比率は？

セミナー N=810
面接 N=737



4月中~下旬時点でのセミナー参加社数は「1~10社」が最多で47.3%。0社も含めると過半数の学生が10社以下に留まる。

面接受験社数は「1~5社」が最多で49.5%。面接受験の概算平均は5.6社。

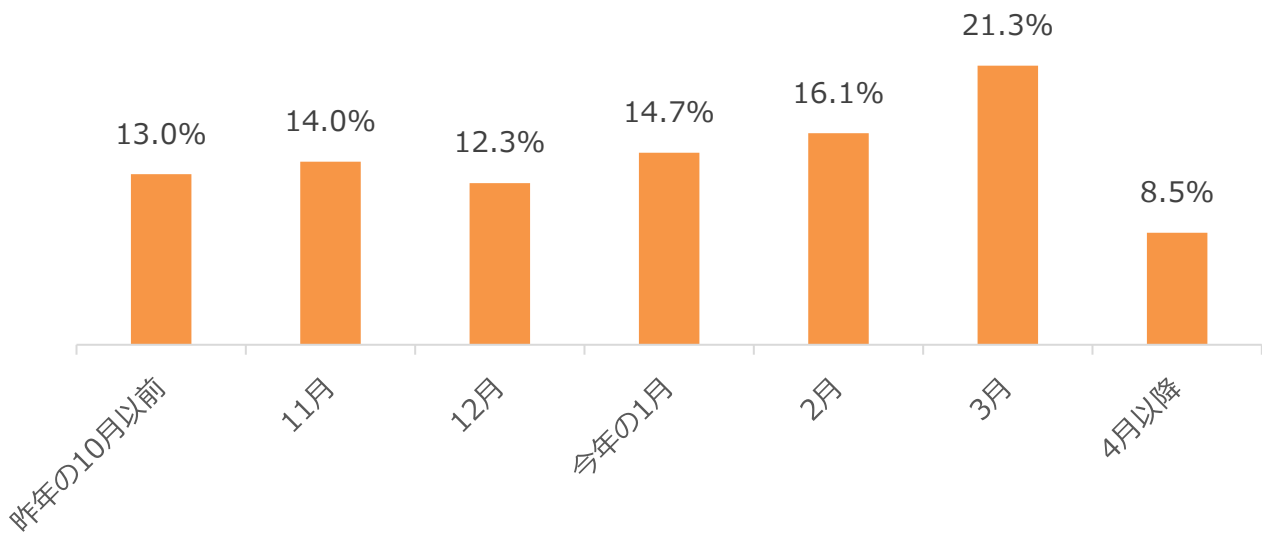
参加したセミナーの形式は、対面 : オンライン = 0 : 10 (オンラインのみ) が28.3%、同1 : 9が29.5%と、6割近い学生の参加したセミナーは、そのほとんどがオンライン形式であった。面接に関しても多くがオンライン形式であるが、セミナーと比べると対面の比率が高い傾向にある。

① 就職活動の進行状況について

Q. 最初に面接を受けた時期は？

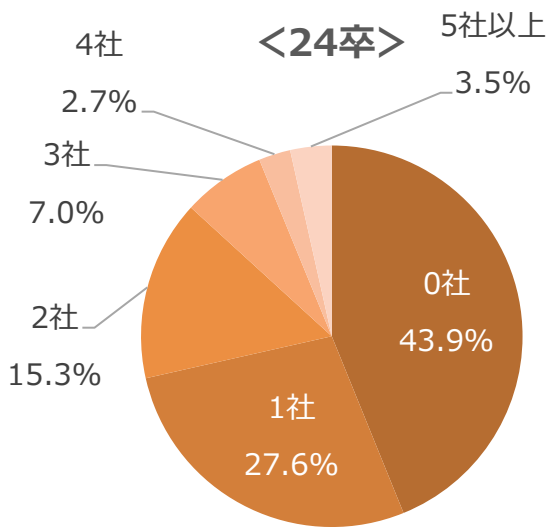
※インターンシップの面接ではなく、採用に関する面接について回答

N=737



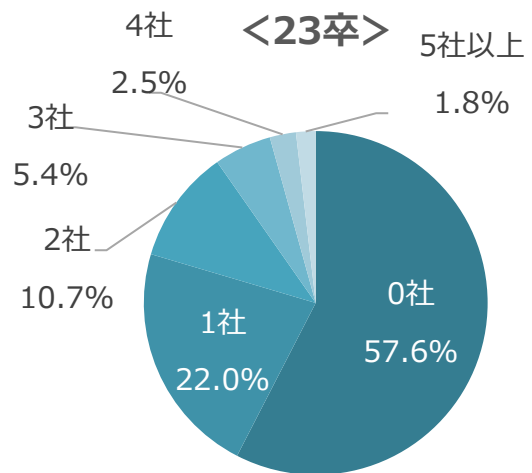
Q. 現在までの内々定獲得社数は？

N=855



【概算平均】

24卒 = 1.1社 (内々定ありの学生 = 1.9社)



【概算平均】

23卒 = 0.8社 (内々定ありの学生 = 1.9社)

最初に面接を受けた時期は採用広報解禁月の「3月」(21.3%)が最多だが、2月以前が70.1%に上る。特定の月に偏ることはなく、インターンシップ参加後、順次面接に進む学生が多かったようだ。

内々定の獲得状況については、1社以上獲得している学生が56.1%と、昨年同時期の42.4%を13.7ポイント上回り、早期の内々定獲得が進んでいる。P.3~4ページにあるように、プレエントリー~面接受験までの各社数はいずれも昨年同時期から微減している中で内々定率の高さが際立つ。昨年度と比べても2024年卒学生は売り手市場がいつそう進んだことがうかがえる。

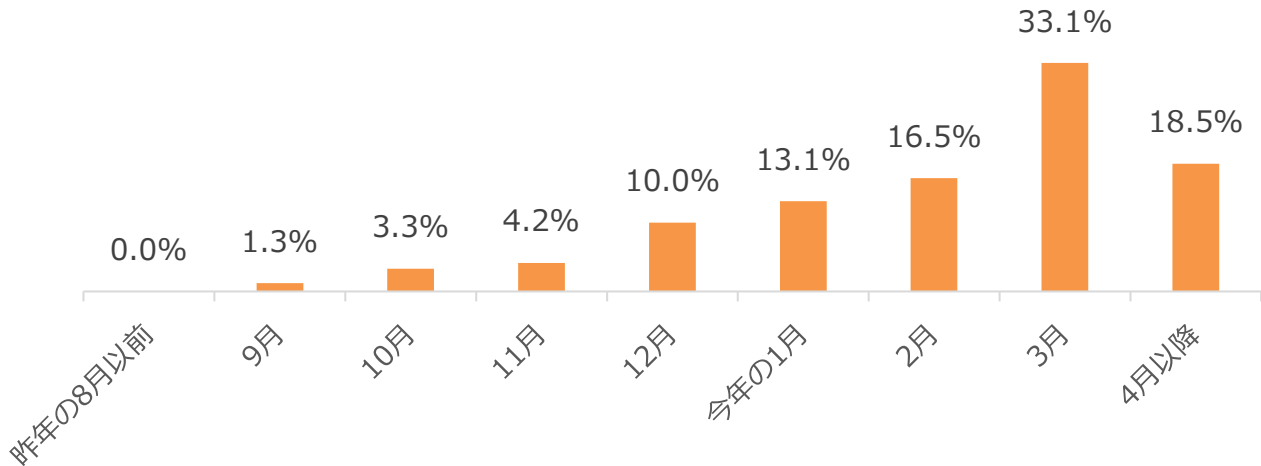
① 就職活動の進行状況について

Q. 内々定を獲得した時期は？

※複数社から内々定を得ている場合は最初に得た時期について回答

N=480

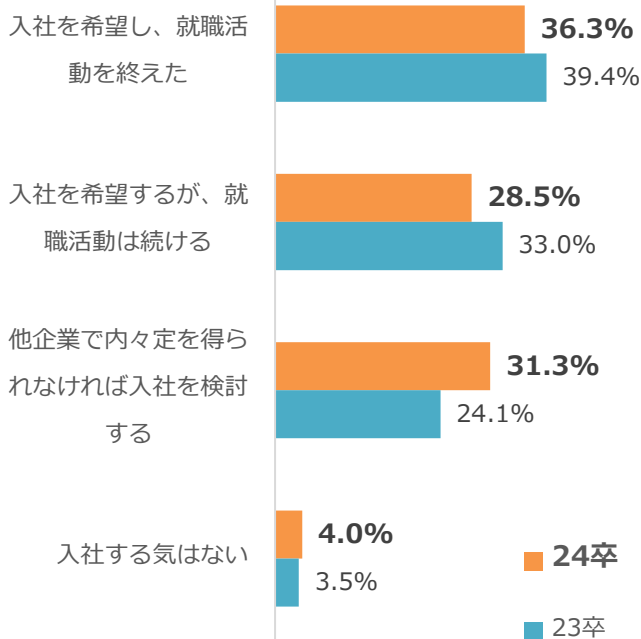
※内々定【あり】の学生が回答



Q. 内々定獲得企業への入社意思は？

N=480

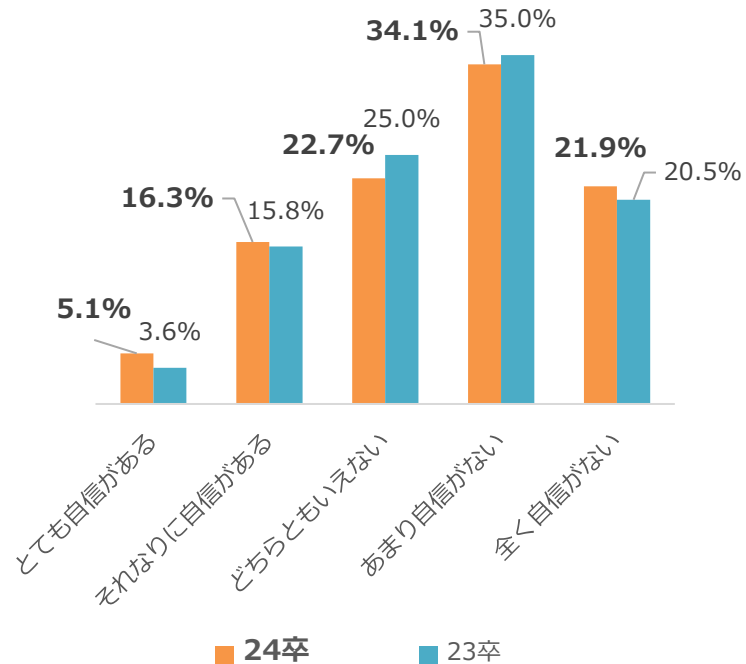
※内々定【あり】の学生が回答



Q. 内々定を獲得する自信の程度は？

N=375

※内々定【無し】の学生が回答



内々定を最初に獲得した時期の最多は「3月」で33.1%。「4月以降」が18.5%でそれに次ぐ。企業の内々定出しは3月以降に本格的に進められたようだ。

内々定を持つ学生に入社意思を聞いたところ、36.3%が「入社を希望し、就職活動を終えた」と回答。この回答が最多で、意中の企業から内々定を得られるケースが多かったようだ。ただし昨年同時期比では3.1ポイント減少。一方で「他企業で内々定を得られなければ入社を検討する」が同7.2ポイント増の31.3%。比較的容易に内々定獲得できる環境にあるからこそ、入社意思が固まらないまま内々定獲得に至るケースも増えているようだ。

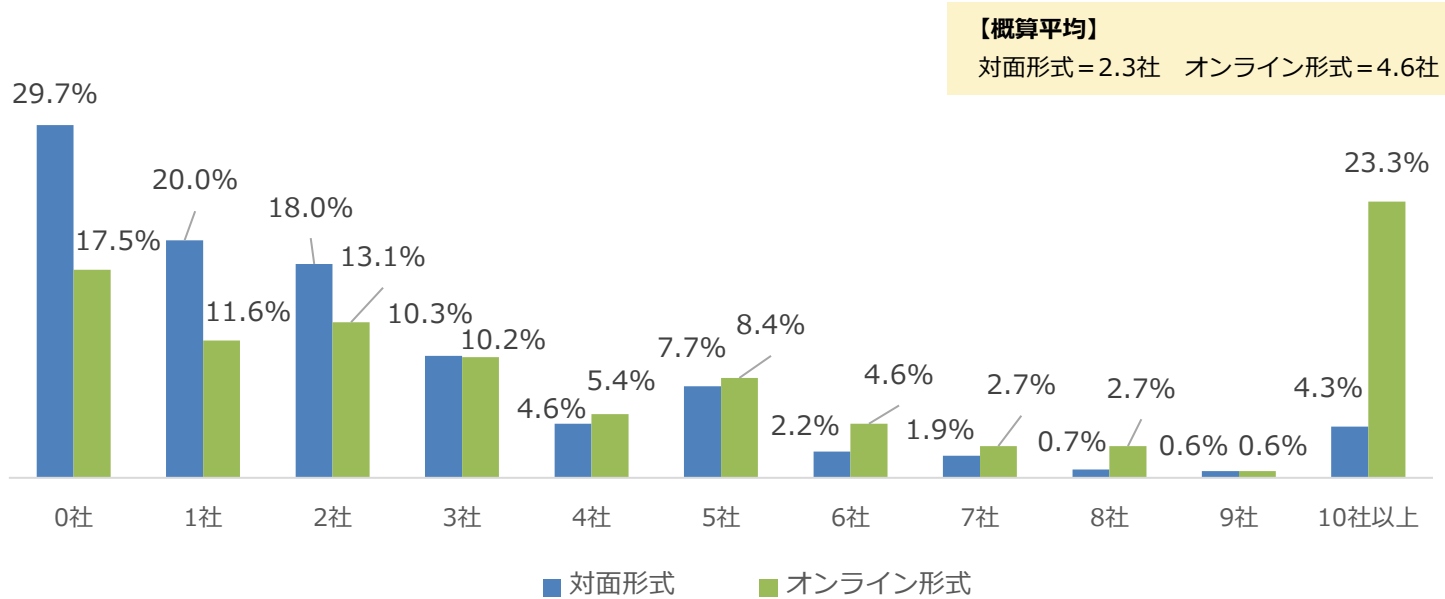
未内々定の学生に内々定獲得の自信の程度を聞いたところ、昨年同時期と回答の傾向に大きな違いは見られず、「あまり自信がない」が34.1%で最多であった。

② インターンシップについて

※インターンシップはワークショップやグループワークなども含めて回答

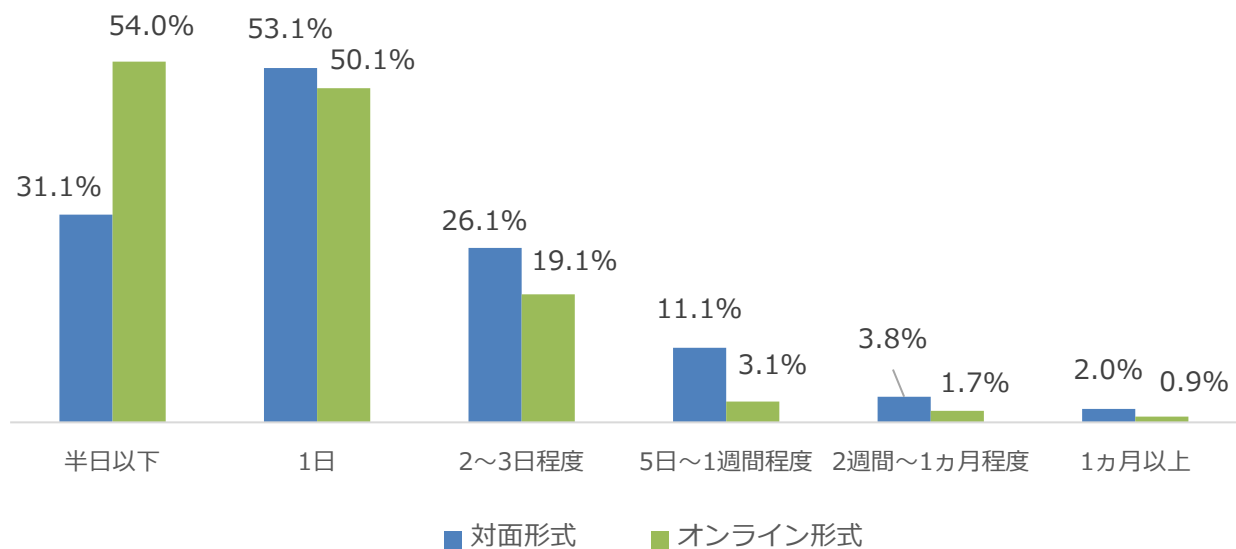
Q. インターンシップの形式別の参加社数は？

N=855



Q. インターンシップの1社あたりの参加日数は？（複数回答可）

対面形式 N=601
オンライン形式 N=705



インターンシップの参加社数について、対面形式のものは「0社」が29.7%、「1社」が20.0%、「2社」が18.0%など、参加しなかった、あるいは1~2社程度の参加だった学生が多数を占める。2024年卒学生にとってインターンシップ期は新型コロナウイルスの影響がまだまだ強かった時期であり、対面で多くのインターンシップに参加することは容易ではなかったようだ。一方、オンライン形式では「10社以上」が23.3%と、参加社数が2桁という学生も少なくなかった。

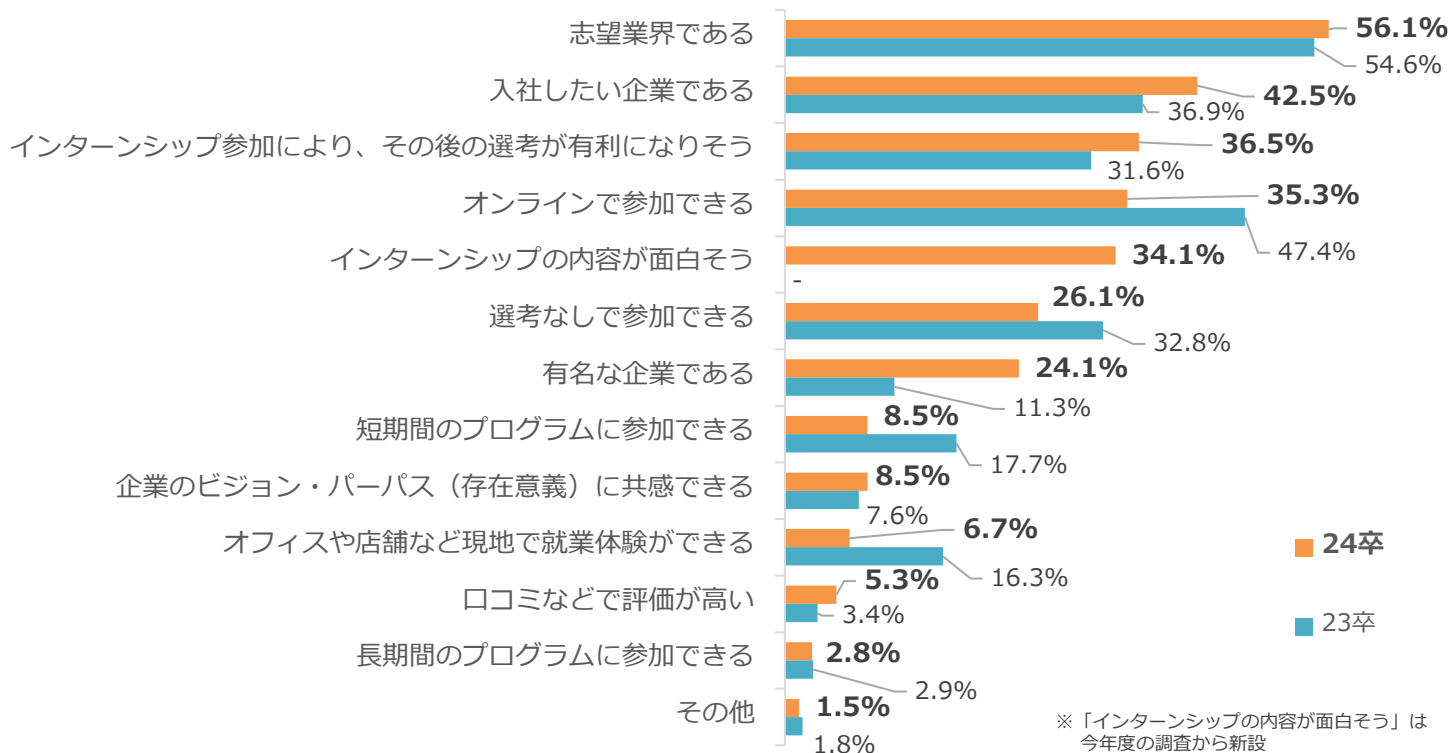
参加日数はオンライン形式では「半日以下」が54.0%、「1日」が50.1%と、1日以内で完結するプログラムへの参加が多数を占める。対面形式も「半日以下」や「1日」の割合が大きいものの、「2~3日程度」が26.1%、「5日~1週間程度」が11.1%と、数日間に及ぶプログラムへの参加も少なくなかったようだ。

② インターンシップについて

Q. インターンシップ先の企業を選んだ基準は？（複数回答可）

N=751

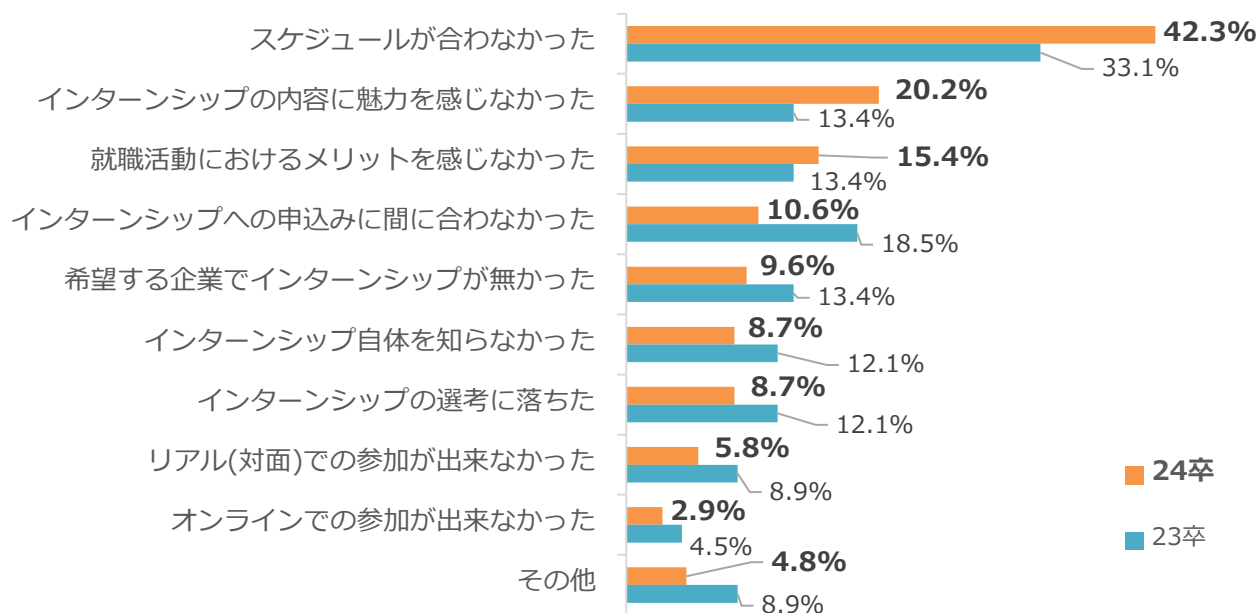
※インターンシップに【1社以上参加した】学生が回答



Q. インターンシップに参加しなかった理由は？（複数回答可）

N=104

※インターンシップに【参加していない】学生が回答



インターンシップに参加した学生に“参加企業を選んだ基準”を聞いたところ、「志望業界である」（56.1%）が1位に挙げられた。それに続く「入社したい企業である」（42.5%）と「インターンシップ参加により、その後の選考が有利になりそう」（36.5%）は昨年同時期をそれぞれ約5ポイント上回っており、より実利を求めてインターンシップ先を選ぶ学生の割合が増加した。

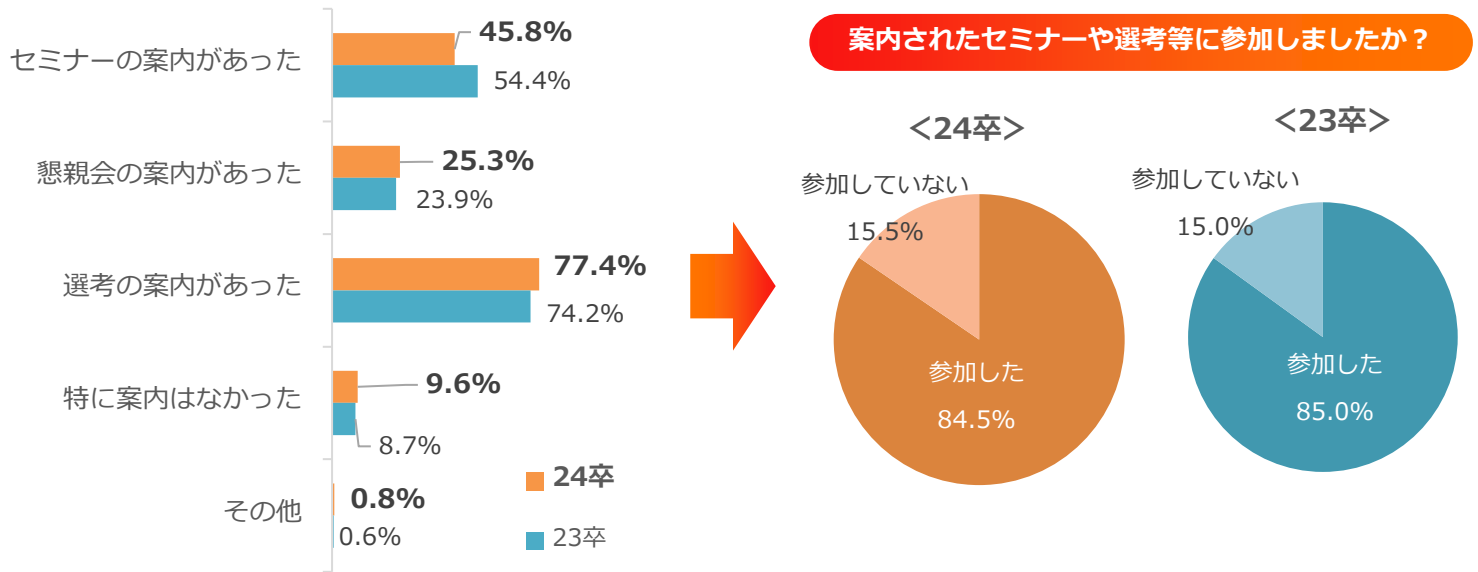
インターンシップに参加しなかった学生に“参加しなかった理由”を聞いたところ、「スケジュールが合わなかった」が42.3%で1位に。「インターンシップの内容に魅力を感じなかった」（20.2%）、「就職活動におけるメリットを感じなかった」（15.4%）と続く。

② インターンシップについて

Q. インターンシップ参加者限定のセミナーや選考等の案内はありましたか？（複数回答可）
また案内されたセミナーや選考等に参加しましたか？

N=751

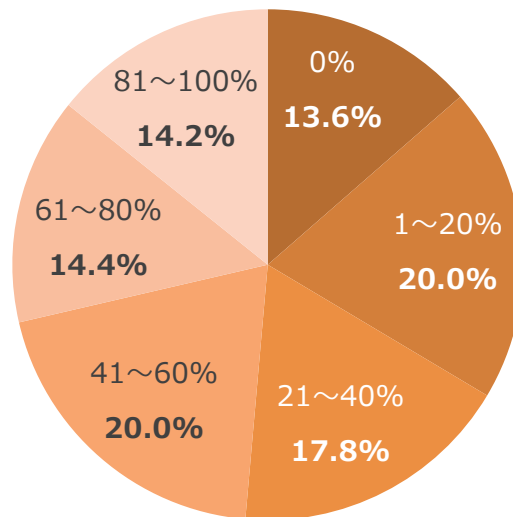
※インターンシップに【1社以上参加した】学生が回答



Q. インターンシップ参加企業のうち、選考に進んだ企業の割合は？

N=751

※インターンシップに【1社以上参加した】学生が回答



円グラフの数値のうち
・上段が選考に進んだ企業の割合
・下段が回答学生の割合

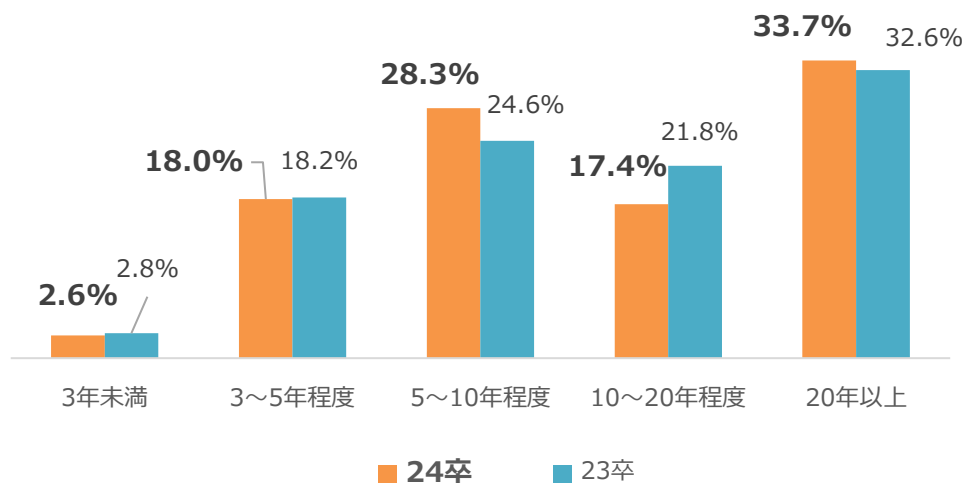
インターンシップ参加学生に“参加者限定のセミナーや選考等の案内があったか”を聞いたところ、特に多かったのが「選考の案内があった」で77.4%。4分の3を超える学生が選考を受けるよう誘われたようだ。また案内されたセミナーや選考等に「参加した」学生は84.5%に及び、インターンシップ参加がその後の就職活動に深く関わっていることがうかがえる。

インターンシップ参加企業のうち、選考に進んだ企業の割合は、「1~20%」が20.0%、「81~100%」が14.2%など、学生によりばらつきがある。

③ 就職活動や仕事に対する考え等について

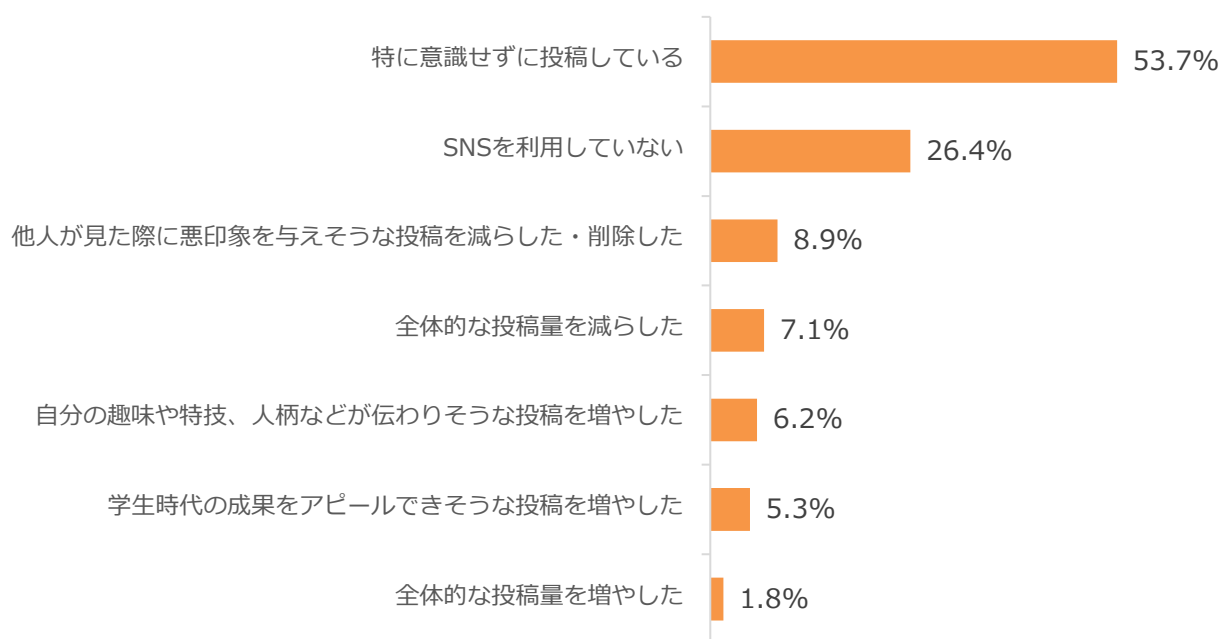
Q. 新卒で入社した会社で働きたい年数は？

N=855



Q. 就活を始めてから、自身のSNSの投稿について意識したことは？（複数回答可）

N=855

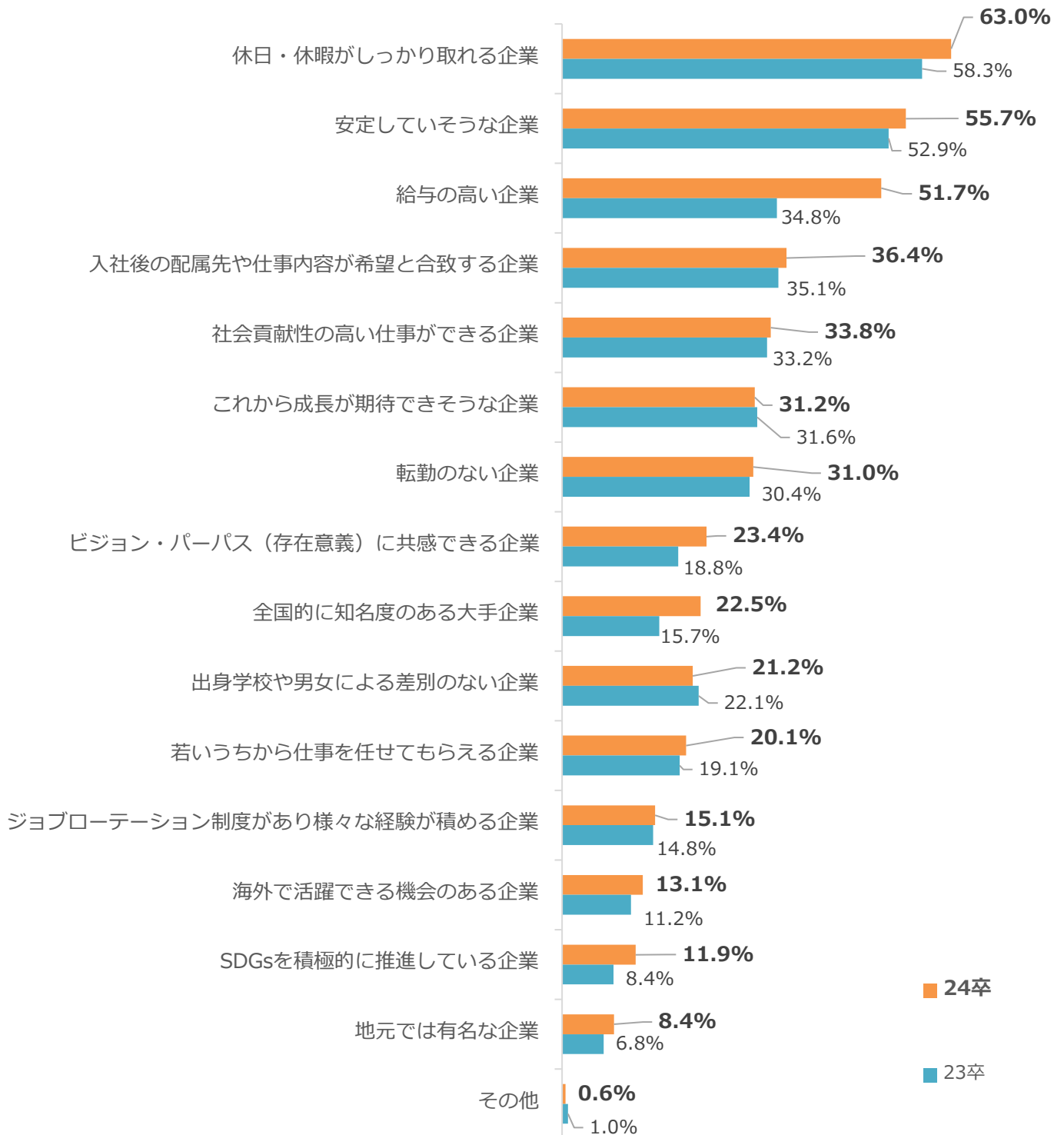


新卒で入社した会社でどの程度働きたいか聞いたところ、「20年以上」が33.7%で最多に。スキルを磨いて早期に転職を目指したいという学生もいるだろうが、現時点では同一企業で長い年月勤務したいと考えている学生が多いようだ。

また採用活動において人事担当者が学生の多面性を知るため、学生のSNSをチェックするケースもあると言われる。これに対し“自分自身のSNS投稿について意識していること”を聞いたところ、「特に意識せずに投稿している」が53.7%で最多に。アピールできそうな投稿を増やした学生と比べれば、悪い印象を与えそうな投稿を減らしたり削除した学生の方が多いが、全体的に見れば気にせずに投稿している学生が過半数に及んでいる。

Q. 以下の中でどのような企業に魅力を感じますか？（複数回答可）

N=855



どのような企業に魅力を感じるか聞いたところ、1位と2位は昨年と同じく「休日・休暇がしっかり取れる企業」（63.0%）、「安定していそうな企業」（55.7%）が挙げられた。昨年から変化が見られたのが、3位に挙げられた「給与の高い企業」（51.7%）で、昨年同時期を16.9ポイント上回った。新卒採用難の中で初任給を引き上げる企業が増えているほか、昨今の物価高が日常生活に大きな影響を及ぼしていることもあり、給与の高い企業に魅力を感じる学生が増加しているようだ。

GAKUJO REPORT

あさがくナビ

朝日学情ナビ 2024

2024年卒学生対象 就職活動意識調査レポート

2023年5月発表

弊社「新卒採用サービス」等に関するご案内・お問い合わせはこちら



「新卒採用サービス」ご案内ページ
< <https://service.gakujo.ne.jp/newgraduate> >



「調査レポート」バックナンバー
< <https://service.gakujo.ne.jp/documents> >

つくるのは、未来の選択肢

学情
GAKUJO
東証プライム上場



■本 社	〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-3 東京宝塚ビル7階	TEL (03) 3593-1500 (代)
■大 阪 本 社	〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-10 学情梅田コンパス	TEL (06) 6346-6833 (直)
■名古屋支社	〒460-0008 名古屋市中区栄2-3-6 NBF名古屋広小路ビル8階	TEL (052) 265-8121 (代)
■京 都 支 社	〒600-8008 京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町8 京都三井ビルディング3階	TEL (075) 213-5611 (代)
■福 岡 支 社	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル8階	TEL (092) 477-9190 (代)

株式会社学情は、東証プライム上場・経団連加盟企業であり、法人株主として朝日新聞社・大手金融機関が出資し、10,000社以上の優良企業と取引する大手総合就職・転職情報会社です。会員数200万名の「20代向け転職サイト4年連続No.1(Re就活)」(※2019年～2022年 東京商工リサーチ調査 20代向け転職サイト 第1位)をはじめ、会員数40万名の「学生満足度No.1(あさがくナビ(朝日学情ナビ))」(※2022年 オリコン顧客満足度(R)調査 逆求人型就活サービス 就活支援コンテンツ 第1位)や、「新卒学生対象・合同企業セミナー来場数No.1(就職博)」(※2023年 東京商工リサーチ調査 新卒学生対象・合同企業セミナー 第1位)を運営しています。